

令和6年度羽田空港の機能強化に関する都及び関係区市連絡会 分科会（第3回）

会議の概要

- 会 議 名 令和6年度羽田空港の機能強化に関する都及び関係区市連絡会 分科会（第3回）
- 開 催 日 令和6年10月29日（火曜日）
- 出席状況 東京都、港区、新宿区、江東区、品川区、目黒区、大田区、渋谷区、中野区、豊島区、北区、板橋区、練馬区、江戸川区、国土交通省
- 議事の要旨
 - * 国土交通省より、騒音測定結果や部品欠落報告等についての説明

【主な意見及び国の回答等】

- ・ 騒音発生状況について、これまでは復便に伴い増加傾向で推移していたところ、今期においては落ち着いているとのことだが、高止まりしている状況か。
⇒前年度と比較すると復便が進んでおり、国内線はほぼ100パーセント、国際線も90パーセント近く回復している。これ以上に大幅に便数が増えるような状況ではない。
- ・ 航空安全の徹底について、国や航空会社を中心に行っているところではあるが、新飛行経路のみならず、航空の大前提である。引き続き強力に進めていただきたい。また当区では騒音以外にも大気汚染や電波障害、資産価値の下落に関する意見もあり、実態調査を行うべきといった声もある。「羽田空港のこれから」等の資料を活用しながら説明を行っているところであるが、特に大気汚染の調査については、令和元年と令和三年に羽田空港に調査が実施されて以降、実施されていない。過去の調査では基準値以内であるとのことだが、今後の調査予定はあるのか。
⇒ご意見について承った。担当部署へ報告の上、実施について検討する。
- ・ 住民説明会について、新飛行経路の運用開始前は複数回実施していたが、議会等から再度の開催要望を受けている。これまでも要望しているところではあるが、改めて開催に向けて検討いただきたい。また前回の分科会で、説明会の実施は固定化回避検討会の開催も踏まえながら検討する、と回答いただいたが、令和5年に開催予定であった第6回の検討会もまだ開催されていない状況であるため、早期の開催をお願いしたい。また、1月に発生した羽田衝突事故について、6月に有識者検討会による中間とりまとめを発表し、対策を講じているところであるが、引き続き一層の安全対策及び再発防止策を講じていただきたい。
⇒住民説明会について、前回の分科会から状況は変わってはいないが、引き続き次回の固定化回避検討会の開催に向けて検討中である。開催について関係者の皆様と相談の上、検討させていただく。現時点で具体的なスケジュールは明言できないが、早期の開催に向けて調整を行っていく。また、羽田衝突事故に対する安全対策について、現在、中間とりまと

めに盛り込まれた対策を実行している最中である。最終的には運輸安全委員会の事故調査報告を踏まえて抜本的な安全対策を講じていく。

以上